

事業評価を住民サービスに反映させているか

事業評価・行政評価を いたっていない



中山 美幸 議員

民間では様々な方法で事業の評価を実施し、経営の安定化を図っている。全国的な財政悪化に伴い自治体でも事業評価を行い、財政健全化、住民サービス向上に寄与している。

職員に再認識を

求めている

町長
公募の町民14名によ

行政改革調査専門委員会、職員で構成する行政改革推進本部で行政全般の検証を実施して見直したが、行政評価、事業評価までには至っていない。予算編成で、前例踏襲・現状維持発想の排除に努め、町民のための行政運営に職員一丸となることを求めている。

行政は

サービス生産業

中山議員

民間企業を見習い行政は公共サービス生産業であるとの視点で効率・効果などを評価すると共に新たな企画力が必要である。

職員もサービス生産業であることの認識を強く持つべきではないか。

評価し新分野への 挑戦は必要である

町長

民間は利益追求型、行政は税を根幹とし様々な事業や政策を展開するが、住民の様々な要望に対応することは当然である。住民ニーズに对应しているか難しいところもあるが、畜産や福祉においてはある程度予算措置出来ている。

町民所得と

職員給与の差を
どう考える

中山議員

町民一人当たり（0歳から高齢者までを含む）年間所得220万円、職員平均給与600万円であること

を考えると、職員が行うべき仕事か、民間で実施すべきか、職員は他にすべき仕事はないか。事業評価することで見えてくるのではないか。

給与に見合う 仕事に努める

町長

一生懸命一人二役、三役、スポーツ活動においても全員参加。一致団結し仕事の状況態度を町民に認めてもらえるよう指示している。給与に見合う仕事は当然やるべきと認識しているし、そのように指導している。指摘された点は今後十分考える。

教育行政の 外部評価が 遅れた理由は

中山議員

教育委員会の外部評価は法により定められており、本町では21年

迅速性に欠け 反省している

教育長

教育分野は学校、社会教育と幅が広く評価委員選定にも戸惑った。住民向けには庁舎ロビー閲覧コーナーに展示している。

住民サービスが 満たされているか

中山議員

庁舎の閲覧コーナーに展示するだけで法的には公表しているが、それでは住民サービスには程遠い。もっと手段を講じるべきである。図書館行政も評価努力が示されているが、本町では、数値目標も公表されていない。社会教育課の実行委

員会方式事業実施の内容等も評価が甘い。さらに精査し、実行委員会の機能を十分に活用した運営に努める努力をされたい。

図書館評価は 法的に努力義務で あり実施していない

教育長

図書館については法律では努力義務であり実施していない。実行委員会方式では1回目を計画2回目の実行委員会を反省や次期検討会としている。

各市町村 給与・定数管理等について

市町名	年度	職員数	1人当たり平均給与
大崎町	20	148	¥6,011,000
	19	151	¥5,962,000
A市	20	352	¥6,085,000
	19	364	¥6,105,000
B市	20	385	¥6,554,000
	19	405	¥6,571,000

※データは各市町村ホームページ公表

市町村村民所得主要票(19年度分)

市町名	人口(人)	総所得	1人当たり所得
大崎町	14,911	¥32,985,872,000	¥2,212,000
A市	34,122	¥76,774,232,000	¥2,250,000
B市	41,258	¥82,809,641,000	¥2,007,000

平成22年3月鹿児島県公表(人口平成19年度)

総所得を生産人口比率を利用し算出すると
32985872000÷(14,911×0.589)=¥3,755,830 となる